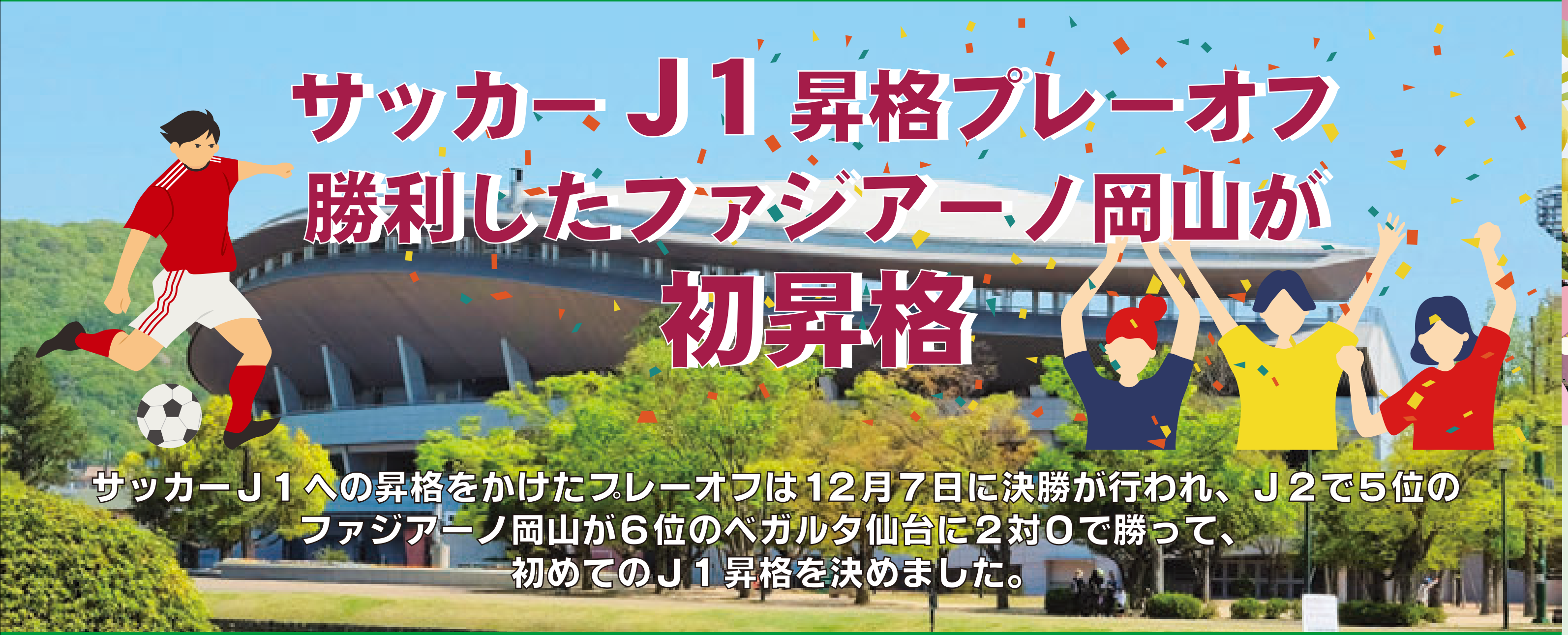


サッカーJ1昇格プレーオフ 勝利したファジアーノ岡山が 初昇格

サッカーJ1への昇格をかけたプレーオフは12月7日に決勝が行われ、J2で5位のファジアーノ岡山が6位のベガルタ仙台に2対0で勝って、初めてのJ1昇格を決めました。

本会議の質疑応答

野犬対策事業について

Q 岡山市では野犬対策として、捕獲した野犬を人慣れ訓練し譲渡する取り組みを行っており、殺処分は行っていない。しかし、捕獲・譲渡数の増加に伴い経費も増えており、財源確保が課題となっていますが、ご見解をお示しください。

A 岡山市は、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、野犬の人慣れ訓練と譲渡を促進する事業を実施する。目標額は700万円で、7月から募集開始予定。現在の収容頭数は181頭と増加傾向にあり、譲渡促進のためSNS発信や民間との共同譲渡会を進める。寄附金は人慣れ訓練事業に充当され、予算の上乗せはない。地域猫活動には活用せず、全国や海外にも情報発信を強化する方針。

不妊治療費助成事業について

Q 日本の出生数減少を受け、岡山市の不妊治療費助成事業について議論が行われたが、助成の対象範囲や生殖補助医療の種類、不育症への対応、制度の周知や啓発活動についてお示しください。

A 岡山市の不妊治療費助成事業では、健康保険適用の生殖補助医療が対象となり、女性の年齢が43歳未満であることが条件となります。助成対象の治療には体外受精や顕微授精が含まれ、不育症については別途助成事業があり、令和7年度予算に500万円余が計上されました。制度の周知は、市の広報や医療機関でのチラシ配布を通じて行われ、不妊と不育は治療法が異なり、自己負担や安全性を考慮した制度設計がなされています。

子ども海外派遣事業について

Q 岡山市の子ども海外派遣事業は応募が定員の約3倍に達する人気事業だが、令和7年度の募集枠は据え置き。理由として相手都市との調整や人的リソース不足が挙げられますが、今後の枠拡大や予算・人員確保の改善策についてお示しください。

A 今年度の国際サマーホームステイ事業は、6年ぶりに開催され、46人の子どもたちが文化交流を行いました。応募者数が過去最多で、国際交流への関心が高まっています。令和7年度は、市内中学生を8つの都市に派遣し、国際交流を深めます。人数増加の希望があるものの、受入れ体制や引率職員の制約があり、規模拡大は難しいとされています。今後は効率的な人員配置を検討します。

発信しております!ぜひご覧ください!

公式HP Facebook Youtube Instagram

https://www.a24eda.com/
TEL 086-737-4307
FAX 050-3488-4040
E-mail info@a24eda.com

熱い、厚い、志!!

岡山市を未来に繋ぐ

江田あつし通信 VoL.8

山火事の被害に心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧をお祈りいたします。

発行元:江田あつし

岡山市を未来に繋ぐ　みんなで暮らす町だから、みんなの意見でより良くしたい。

今年度(令和7年度)予算の主要項目

R7予算額(　)書きは一般財源

子育て環境の施設整備推進事業
51億85百万円（12億80百万円）

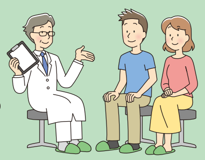
幼稚園と保育園を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。

- 市立認定こども園整備（8園）
- 市立施設の民営化に伴う施設整備（5園）
- 耐震や老朽化等の対策を行う私立施設への補助（3園）

不妊治療費助成事業
50百万円（25百万円）

不妊に悩む方々が経済的な理由で子どもを持つことを諦めることなく、安心して不妊治療を受けられるよう、不妊治療費の一部を助成します。

- 対象者　健康保険適用の生殖補助医療を実施している方
- 助成額　生殖補助医療のために支払った健康保険適用後の自己負担額1回の治療につき、10万円（上限）



困難を抱えるこどもとその家庭への支援
10億円（8億93百万円）

こどもの将来が、貧困などその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、困難が世代を越えて連鎖することのないよう、必要な環境整備を図ります。

- 子どもの学習サポート事業
- 子どもの居場所づくり促進事業
- 岡山市奨学金給付事業
- 養育費履行確保支援事業
- 就学援助費等支給事業
- 社会的養護自立支援拠点事業
- ファミリーサポート事業【拡充】

終活支援事業
2百万円（2百万円）

高齢者自身と周囲の支援者に人生の最終段階に向けた備えをしてもらうため、終活に関する支援を実施します。

- エンディングノートの作成、配布
- 終活の必要性を周知

野犬対策事業
45百万円（35百万円）

野犬の捕獲促進に伴う収容頭数の増加に対応するため、収容から譲渡までの体制を強化し、「殺処分ゼロ」を継続します。クラウドファンディング型ふるさと納税を通じて、取組の周知を図るとともに、協力を求めます。

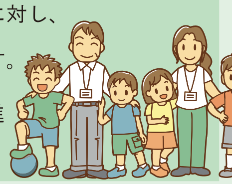
- 野犬等の捕獲促進事業及び一時収容施設の継続
- 収容犬の飼養保管から譲渡までの管理費及び事業委託費
- 収容から譲渡までの短期化を図るための犬の人馴れ訓練事業
- ボランティア支援事業　等

クラウドファンディングを始めます！
ご協力お願いします

放課後児童健全育成事業
57億65百万円（19億83百万円）

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。

- 市立の放課後児童クラブ（67クラブ）の運営
- 地域主体で実施する児童クラブの質の改善の推進
- 児童クラブ施設の量の確保
- 民間事業者への補助【拡充】等



子ども医療費助成事業
36億9百万円（31億9百万円）

子どもの医療費の全部又は一部を支給し、子どもの健康の保持及び増進に寄与するとともに児童福祉の向上を図ります。

- 乳幼児、小学生の通院及び入院医療費を全額助成（自己負担無料）
- 中学生、高校生の通院医療費を一部助成（自己負担1割）
- 中学生、高校生の入院医療費を全額助成（自己負担無料）

※高校生とは、在学の有無に関わらず18歳に達した日以後の最初の3月31日までの者

帯状疱疹ワクチン接種事業
2億35百万円（1億27百万円）

高齢者の重症化予防やQOLの低下を防ぐため、接種に要する負担額を軽減し、必要な方が接種できる環境を整備します。

（対象者）
- 65歳の人
- 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する人
- 70歳以上の5歳刻みの年齢の人（5年間の経過措置）

救急安心センター事業（#7119）
13百万円（9百万円）

市民が急な病気やケガをしたときに、医療機関の受診の要否などに迷った際、看護師等の専門家が電話で相談事業を行います。

- 救急安心電話相談窓口運営業務

〈開始時期〉令和7年10月1日
〈受付時間〉平日　午後7時から翌朝8時
　　　　　土曜日　午後6時から翌朝8時
　　　　　日祝年末年始　午前8時から翌朝8時

安全・安心なまちづくりの取組
37百万円（37百万円）

犯罪や交通事故のない安全で安心なまちづくりを推進するため、学校内における児童生徒の安全を確保し、子どもの教育環境を守るため、全ての市立学校に防犯カメラを設置します。

- 全市立学校に防犯カメラ等を設置

その他の今年度予算はこちらから ▶

陥没事故からくる岡山市の下水道（老朽管整備）

路面下空洞調査

安全・安心かつ円滑な道路交通の確保のため、道路陥没の原因となる空洞をレーダーを用いて調査しています。

STEP1　一次調査
空洞探査

空洞は舗装の下に発生するので直接には見えません。そこでレーダー（電磁波）を道路に照射し、その反射波を解析することにより空洞を探し出します。レーダーを搭載した空洞探査車は最高速度60km/hで道路を走行しながら調査することができます。（歩道部は小型の手押しタイプにて行っています）

STEP2　二次調査
内視鏡撮影

一次調査で探した空洞を目視で確認するのが二次調査です。舗装に穴を開けて内視鏡により空洞を観察・撮影します。

◆埼玉県八潮市において、令和7年1月28日に下水道管の破損に起因したと考えられる道路陥没が発生した。現在も多くの住民が生活に支障をきたしている。破損した下水道管の直径は4.75mで、築造から40年以上経過していた。

◆岡山市では老朽化の進む市街地の管楽で、令和3年度から、空洞探査を毎年4km行っている。また、破損の恐れがある箇所については、目視などによる点検を定期的に行っている。これらの調査の結果、対策が必要な場合は修繕等を行っており、近年、大きな事故は発生していない。

◆今回の事故を受け、岡山市では、国からの緊急点検要請の対象ではないが、直径2.0m以上で、築造から40年以上経過した下水道管が埋設されている路線、約9.3kmに対して、地上から道路下の空洞探査を行う。

◆調査の結果、空洞が確認された箇所については、下水道管に破損などがないか、マンホールから人が入り管内の点検を行う。また、これまでの点検で、直ちに対策の必要はないが経過観察と判断している箇所も、来年度は点検を行う。

市全体2760km　50年以上経過の老朽管は139km（全体の5%）　カメラ調査 10km／年　空洞調査 40m／年

乙号議案（議員提案条例）

岡山市民の終活を支援するための条例

岡山市は、住民が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるよう、終活を支援します。
終活は人生の準備活動であり、市はエンディングノートやおくやみハンドブックの作成、人生会議の普及、相談支援などを通じ、不安を軽減します。また、市と事業者が協力して施策を進め、必要な財政措置を講じます。
この条例は令和7年4月1日から施行されます。

岡山市こどもの権利に関する条例

岡山市は、こどもの権利を保障し、安全・安心な環境での成長を目指す条例を制定。基本理念に「差別の禁止」「意見の尊重」「最善の利益の考慮」を掲げ、こどもの意見表明や参加を促進。いじめ防止、貧困対策、多様性の尊重、ヤングケアラー支援に取り組みます。市、地域、施設、保護者が連携し、子どもの幸せと健やかな成長を支える仕組みを構築。
この条例は令和7年4月1日から施行されます。

町内会条例

岡山市は、町内会が地域住民の福祉、防犯、防災、環境美化を担い、地域社会の活性化を目指すための条例を制定しました。町内会等は市と協働し、地域住民や事業者がその重要性を認識し、次世代へ引き継ぐ存在と位置づけます。条例では、地域コミュニティの維持、町内会の活動活性化、市の責務、町内会や住民、事業者の役割を明確化。
この条例は令和7年4月1日から施行されます。

岡山市が新アリーナ整備の経済効果を再試算「20年間で約2800億円」

岡山市は、北区・野田に新アリーナを設置する計画を進めており、当初の計画よりも規模を拡大し、最大収容人数を1万人とする方針を示しています。当初、岡山県全体への経済波及効果は開業後20年間で約910億円と見積もられていましたが、アリーナの規模拡大に伴い再試算した結果、約2800億円に上ると予測されました。市は、この増加の要因として、「コンサートの開催回数の増加や、県外から訪れる宿泊客の増加による消費拡大」などを挙げています。

岡山市財政状況（令和6年9月）

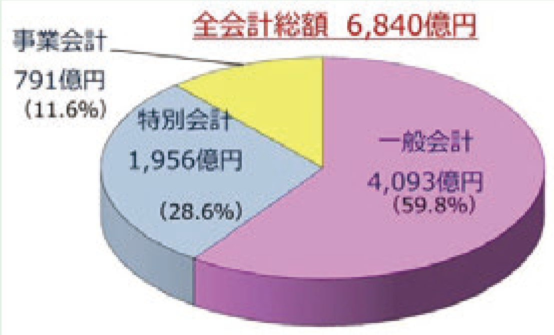
当初予算（案）の規模

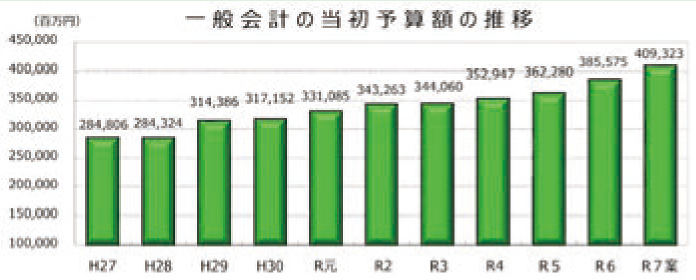
■一般会計は、過去最高となる4,093億円
（対前年度比237億円、6.2%の増）

■一般会計、特別会計、事業会計を合わせた総額は6,840億円
（対前年度比237億円、3.6%の増）

（単位：百万円）

区　　分	令和7年度当初予算(案)	令和6年度当初予算	増減額	対前年度比
一般会計	409,323	385,575	23,748	6.2%
特別会計	195,596	198,019	△2,423	△1.2%
事業会計	79,121	76,684	2,437	3.2%
合　　計	684,040	660,278	23,762	3.6%





歳出予算（案）［目的別］の内訳

■民生費は、子どものための教育・保育給付費、児童手当費、障害者自立支援関係費に係る給付費の増加などにより
対前年度比で129億円の増（+8.4%）

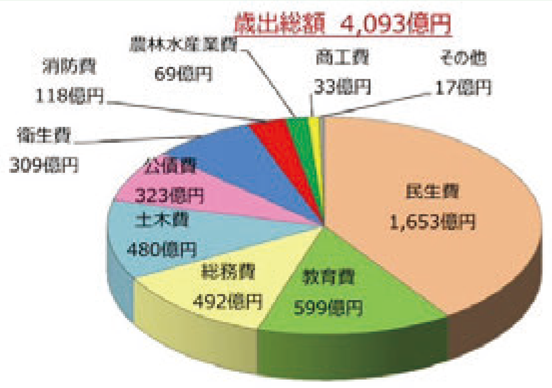
■総務費は、新庁舎整備事業費や岡山シンフォニービル改修費の増加などにより
同73億円の増（+17.5%）

■消防費は、新庁舎における消防指令システム整備の増加などにより
同19億円の増（+18.9%）

■公債費は、元金償還額等の減少により
同16億円の減（△4.8%）

（単位：百万円）

款　別	令和7年度	構成比	令和6年度	構成比	増減額	対前年度比
民生費	165,276	40.4%	152,408	39.5%	12,868	8.4%
教育費	59,937	14.6%	59,323	15.4%	614	1.0%
総務費	49,209	12.0%	41,893	10.8%	7,316	17.5%
土木費	47,952	11.7%	47,593	12.3%	359	0.8%
公債費	32,275	7.9%	33,903	8.8%	△ 1,628	△4.8%
衛生費	30,899	7.5%	28,971	7.5%	1,928	6.7%
消防費	11,849	2.9%	9,968	2.6%	1,881	18.9%
農林水産業費	6,935	1.7%	6,894	1.8%	41	0.6%
商工費	3,301	0.8%	2,978	0.8%	323	10.8%
その他	1,690	0.5%	1,644	0.5%	46	2.8%
合　計	409,323	100.0%	385,575	100.0%	23,748	6.2%



保育所等入園申込児童数の推移（平成28年度～令和6年度）

（単位：人）

	年度（4月1日現在）	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
認可保育施設	就学前児童数(A)	38,708	38,182	37,581	36,806	36,062	34,924	33,710	32,741	31,339
	入園申込児童数(B)	16,318	17,088	17,464	18,284	18,716	18,875	18,884	18,845	18,771
	利用定員数	14,574	15,281	16,016	17,261	17,973	18,820	18,870	18,966	19,014
	受入児童数(C)	14,975	15,593	16,017	16,817	17,330	18,039	18,256	18,232	18,079
	(B)-(C)（未入園児）	1,343	1,495	1,447	1,467	1,386	836	628	613	692
その他の保育サービス利用児童の計※		—	※ 95	※ 298	※ 386	※ 360	※ 211	※ 197	※ 196	※ 264
待機児童数		729	849	551	353	259	31	8	1	0
認可保育施設	申込率（B／A）	42.2%	44.8%	46.5%	49.7%	51.9%	54.0%	56.0%	57.6%	59.9%
	入園申込児童増加数	865	770	376	820	432	159	9	▲ 39	▲ 74
	利用定員増加数	527	707	735	1,245	712	847	50	96	48

注）待機児童数は、未入園児童数の内数。
※　未入園児童のうち、幼稚園等での預かり保育等、企業主導型保育事業及び特認登録保育施設を利用する児童数。
待機児童のカウントから除く。（国の定義）